

44 堂本印象《靈峰飛鶴》

昭和十年（一九三五）

絹本着色

本紙各一五七・三×三五九・六

昭和八年十二月二十三日の皇太子御誕生を祝って、衆議院議員一同より同十年に昭和天皇に献上された作品。翼を広げると二メートルを優に超える体躯を持つタンチョウは、日本で見られる鳥としては最も大型の部類に属する。その大きな体を右隻の画面いっぱいにつつたりと広げたつがいのタンチョウが、左隻の富士へと瑞雲とともに飛んでいく非常に気分の雄大な作品である。堂本印象（一八九一～一九七五）は、鹿児島県北西部の阿久根で写生したタンチョウをモデルに本屏風を描いたという阿久根周辺は、越冬のためにツルが毎年多く飛来する土地として有名である。ツルが悠々と羽ばたく姿を間近で目にした感動が、本屏風にそのまま表現されている。本図と同じく昭和十年に岩崎家からの献上屏風として製作した《松鶴佳色》（当館蔵）という作品でも、印象はやはり双鶴を画面いっぱいに描いており、実物のツルの持つ迫力に強い刺激を受けていた様子が見える。

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

鳥の楽園 — 多彩、多様な美の表現

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 68

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 黒川廣子

発行 宮内庁

平成二十七年三月二十一日発行

© 2015, The Museum of the Imperial Collections, Sanmonaru Shozokan